

私学助成全国署名 各県が再配布、日報体制など奮闘中!!

しかし、昨年同期を下回っている状況 局面打開に向け、できるかぎりの手段を講じて集約増を!!

都道府県議会への提出を目前に控え、各都道府県とも県向け署名の集約に最大限の力を注いでいます。11/27 付署名集約数の報告は、12/1 現在で 12 府県から届いています。署名にまつわるエピソード欄には、勇気づけられる内容が記されています。しかし、一方で集約数は昨年同期を約 85 万筆下回っている状況です。各都道府県での更なる奮闘が求められます。

4,395,560筆

12月1日現在 私学助成全国署名 集約数

(目標の43.67%)

11/27 付の最新集約数が全国から届いています。年度当初、9月の全国会議で、11月中旬からは週報体制を組む事を提起しての取り組みです。私学助成署名の取り組みは組織力を上げる事にもつながります。これまでの少しずつでも数を増加させた学園の取り組みでの一番の教訓は「生の声かけ」にありました。週報体制、そして都道府県議会提出直前での日報体制は、その「生の声かけ」の契機

になるものです。

現在 11/27 付の集約数報告は、青森、岩手、栃木、埼玉、千葉、石川、愛知、岐阜、大阪、岡山、広島、熊本の 12 府県です。

その他の県も都道府県議会提出まで日報体制を取って、集約数を把握していきましょう。どの県でも提出直前まで、受け付ける体制を取りましょう。報告を待っています。

2015年11月25日 四国新聞 ↓

私立高の学費滞納者が微増

経済的理由の中退は多い。気象庁は警戒レベルを3に引き上げた。

4〜9月の半年間に、3カ月以上学費を滞納した私立高校生徒の割合は1・09%で、1998年度の調査開始以降、過去最低だった前年同期比から0・02%増加したと24日、全国私立学校教職員組合連合(全国私教連)が発表した。香川は1・61%。経済的な理由で中退した生徒の割合は0・01%で横ばいだった。

全国私教連の担当者は「低所得層への補助対象が授業料だけで、施設設備費が含まれていない自治体があり、格差が拡大している印象がある。補助制度を改善すべきだ」と話している。調査は全国私教連に加盟する組合がある私立高を中心に行われ、33都道府県の297校(全私立高の23・02%)から回答があった。在校当たり9・55人。学費未納生徒数は26万1267人。学費を3カ月以上滞納したのは32人(香川3人)で、1校当たり0・11人だった。

国向け署名の提出は年明けの2月

☆ 「私学助成全国署名」の取り組みは弛めず、新たな方針を持つて、2月提出まで継続させましょう。

☆ 12月14日の集約院内集会へどれだけの数を積むのかが国の予算編成を左右します。

☆ 「私学経常費助成予算」は概算要求の優先課題推進枠分力として編成されると2015年度予算を下回ります。

県向けと同時の今、全国署名集約に注力を!!

各県から奮闘の様子が伝えられています。

青森…県議会への提出分が昨年集約数を上回りました。

岩手…先週から日報体制に入り、県を挙げて昨年数を上回る取り組みに…

- 盛岡誠桜高校…未集約部分を残すも、目標 30,000 筆を大幅に超え、昨年度より 10,000 筆近く集約数を増加させる勢い。
- 水沢第一高校…先週末から 5,000 筆余り一気に増加。昨年度の 8900 筆を上回る可能性大。
- 一関修紅…昨年度集約実績まであと 300 筆余り。これから幼稚園保護者分を回収・集約。

栃木…小さな「すすめる会」ながら、地道な奮闘で私学助成署名を広げています。

- 学校に出入りの印刷屋さんにも例年のように署名用紙3枚渡し依頼、「社長が他県の署名用紙印刷を引き受けており、署名にも協力している。社内で署名してもらうのももっと欲しい。」と言われ、追加4枚渡した。翌週62筆届いた。
- 署名用紙の職員室配布をした日の午後、隣席の教諭から「実家の工場で協力してもらうのももっと欲しい」と言われ、追加5枚渡した。
- 美容室で署名を依頼。昨年も協力してくれたお客さんに依頼するので10枚ほど欲しいと言われた。

愛知…豊橋中央では、12/3の県提出を控えて先週早々に目標を超過したが署名簿の再配布を断行!!

- 県の私学助成増額が自校の財政改善につながるという確信のもと県 400 万目標実現に向けての英断。